

主な問題点

NPO法人ベターコミュニケーション研究会・情報バリアフリーアドバイザー・中國秀喜

	法律	光 振動 文字 義務	商品	主な問題点	価値観・関心度など	行政や施設側の対応	米国・韓国の場合
施設 (例ホテル) 	消防法施行令	なし	あり 	・基本的には音(声)告知。 ・光、音増幅、動文字は増えているが自主的。 ・ 法律に未記載事項の配慮は消極的	聞こえる人は「聞こえることが当たり前」が前提。 ⇨光、音増幅、振動、文字で知らせることに関心が薄い。	聴覚障がい者から要望がきていない ⇨要望のない事柄には取り組みが消極的	連邦消防法やADAで規定。 ⇨キットの貸し出し。 
家庭 	住火器設置義務法	推奨	あり 	・基本的には音(声)告知。 ・ 光などは高価格で敬遠気味。普及率は1%以下 ・福祉、ほぼ全員が自費購入。 ・賃貸住宅は持ち主の同意必要	・火災問題への関心度はテレビについて2番目に高いが、反応は今ひとつ。 ・ 過去20年間で156人以上が被災。	聴覚障がい者から要望がきていない ⇨要望のない事柄には取り組みが消極的	アパートは各州住宅法で規定。 個人については照会中 <u>部屋数設置個数</u> 1 to 25 1 26 to 50 2 51 to 75 3 76 to 100 4 101 to 150 5 151 to 200 6 201 to 1000 2%

主な問題点

NPO法人ベターコミュニケーション研究会・情報バリアフリーアドバイザー・中國秀喜

【ハードの問題】

- ・20年以上前に比べたら、聴覚障がい者用火災報知器は増加。しかし、使い勝手が悪い商品も。命に関わる物だから聴覚障がい者を含めた第三者による精査がほしい（岐阜県可児市、災害を予報したパトライト機能せず）。
- ・人間は生物。いつかは自分も使用するときが来るので光、振動などは共通仕様にしてコストダウンを。
- ・集合住宅、ホテルなどは中の情報も必要だが、外の火災以外の情報もほしい。新規開発希望（イメージはお問い合わせを）。

【施設の問題】

- ・ホテル・旅館の中に単独宿泊を拒否する施設も。「安全を保障できません。他のホテル・旅館へ」（福岡、岡山、山梨、栃木など）。
- ・聴覚障害者用火災報知器（※携帯メールなど連絡手段を含む）を自主的に配慮するホテルなどは帝国ホテル、京成ホテル、京王プラザホテル、ラフォーレホテル&リゾート、東横イン、ウィークリーマンション東京などを中心に増えているが、人件費を節約しているところほどサービスが悪い。①ハードはあってもソフトの配慮がないところが多い。②機器が複雑すぎる＝使いこなせない。従業員も使いこなせない例も。主に高齢、障がい者が使うので機能は簡単に分かるものが必要など。

【家庭】

- ・火災警報器の普及率は聞こえる人45.9%、聴覚障がい者1%以下。
- ・消防行政は「聞こえることが当たり前」と考えている人が多い。＝音（声）はきこえないのに（とにかく）火災警報器をつけて。聴覚障がい者の視点が少ない。全国で2カ所、消防研究所（わさび）、火災警風器（福井県鯖江市）。
- ・聞こえる人は8000円以下/1台で買えるが、聴障者は2倍以上/1台しかも、部屋の数だけ購入必要。高価格がネックに。

【外国の参考例】

- ・ホテル、米国はADAで設置義務。韓国のホテルはサービスがよい。※ほとんど日本製。
 - ・特に韓国は義務ではないようだが日本語併記も含めてHPなどでPRしている。※ほとんど日本製。
- ⇨数十年前に起きた韓国のホテルの火災で聴覚障がい者だけが全員焼死したという事件があった。

【主な問題点など】

- ・住宅法、聴覚障害者用火災報知器に関する規定がない。賃貸住宅は持ち主の了解が必要。⇨現状は「不満なら退去してください」。
- ・メーカー問題、基本的な部分は規格統一を。まとめると価格も安くなる（田辺市などの取り組みを参考にして）。
- ・設置側の問題、法律に書いていないことはやりたくないという傾向が強い（やらなくても罰されない）。
- ・団体の問題、音（声）に関することは火災報知器だけの問題に限らないが取り組みが消極的。関心度はテレビの字幕について2番組だが、めったに経験することはないので行政への要望につながらない。
- ・行政の問題、要望のないことや法律に書いていないことはやらなくてよいという傾向が強い。縦割りの行政システムでは問題の解消ができない。業界はもちろん、総務省消防庁、国土交通省、経済産業省、厚生労働省など、超党派で取り組んで貰いたい。

- ・参考文献、「聞こえ」のバリア解消への提言～共生社会を目指して～中國秀喜（NHK出版）

市販品の比較(参考例)

	通常の 火災警報器 (聴者向け)	SHW-101	臭気 発生装置	ベルマン ビジット システム	シルタン ちゃん システム	アラート マスター システム
	単機能	単機能	単機能	システム	システム	システム
発信器	8,000円	18,000円	52,500円	8,160円～	16,275円～	8,400円～
送信器	—			28,500円～	26,250円～	33,040円～
合計	8,000円	18,000円～	52,500円～	37,635円～	42,525円～	33,040円～

(定価、かつ安い商品で試算)

気づけば幸い、ダメなら地獄

現金購入

聴覚障がい者は2倍以上の負担

聴者

8,000円～

聴覚障がい者

18,000円～52,500円

福祉給付併用

- 1) 東京都は31,000円まで
- 2) 東京都以外は15,500円まで

身体障害者手帳2級まで
・聴覚障害者のみ、またはそれに準ずる世帯

それでも負担大⇒導入をためらう。



普及率1%以下